

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	田沢湖健康増進センター 管理運営事業				
担 当 課 係 名	田沢湖健康増進センター 課	係	作成者	稲田正之	
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	すべての生命を慈しむ・計画達成のために			総合計画の ページ
	基本計画	高齢者福祉と介護保険事業の充実			
	主要施策	高齢者介護予防の推進・介護サービスの確保			53
予 算 費 目	一般 会計	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	7 目 高齢者等健康福祉施設費	
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度	新規 / 継続の区分			継続
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等					
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	保健・福祉サービスを総合的に推進し、市民の健康の保持増進及び福祉の向上を図るための保健の管理。 又、それらに伴う施設利用と施設管理。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	市民の健康の保持増進及び福祉の向上を図るための施設の利用。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	施設の維持管理業務を実施する。

【事務事業の推移】

(単位:千円)

	項 目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	開館総日数	日	245	246
		利用者総人数	人	7,350	7,380
	成果指標	開館利用実日数	日	231	223
		利用者実人数	人	4,589	4,233
投下コスト	項 目	総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費(人件費を除く)(A)		5,536	5,504	
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源	5,536	5,504	
	人件費(B)	—	15,706	24,213	
		職員数	2.00	3.00	
		職員平均人件費	7,853	8,071	
単位コスト	(A) + (B) 投下コスト	—	21,242	29,717	
	活動指標1単位当たりコスト(円)	—	86,702	120,801	
		—	2,890	4,027	
	市民1人当たりのコスト(円)	—	666	947	

【事務事業の今までの成果】

--

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
C	A	現状のまま継続（実施）	高齢者、保健関係の事業、市民の健康増進のための施設使用目的であるが、市民ニーズに応え施設利用率を上げたい。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

施設管理コストを下げ（指定管理者制度、病院への委託）、高齢者、福祉、保健関係の健康の保持また、施設使用ではあるが今後は他事業でも施設を利用していただく。
一般の方々にも利用していただき、有料化等を検討する。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
C	田沢湖地区の高齢者福祉及び介護保険相談業務、各種検診会場として重要な役割を担っている。施設運営については、引き続き事業の充実を図り、コストの削減に努める必要があると考える。

一次評価診断図

